

レドックス R&D 戦略委員会

第4回 春のシンポジウム

多様な脂質分子とレドックス研究の接点

日時 : 令和6年3月15日(金), 16日(土)
場所 : 北里大学薬学部 大村記念ホール (ハイブリッド開催)
世話人 : 今井 浩孝 (北里大薬), 山田 健一 (九州大院薬)
共催 : 北里大学薬学部
学術変革領域(A)「硫黄生物学」

プログラム

3月15日(金)

13:00 事務連絡
13:00-13:10 開催の挨拶

【セッション1】フェロトーシスによる生命現象の制御

座長: 松沢 厚 (東北大薬)

13:10-13:40

進藤 英雄 (国際医療研究センター)

「LPLAT12/アラキドン酸リン脂質による酸化リン脂質制御～アセトアミノフェン誘導急性肝障害～」

13:40-14:10

山根 大典 (都医学研)

「フェロトーシスを介したC型肝炎ウイルスの持続感染の制御」

14:10-14:40 曾根正光 (北大低温研)

冬眠哺乳類細胞の低温誘導性フェロトーシス回避メカニズム

(休憩)

【セッション2】脂質研究の新展開

座長: 今井 浩孝 (北里大薬)

15:00-15:30

坂巻 純一（順天堂大医）

「膜脂質のユビキチン化によるオルガネラ制御」

15:30-16:00

田村 朋則（京都大工）

「オルガネラ選択的な脂質のケミカルラベリング」

16:00-16:30

有田 誠（理研、慶応大薬）

「脂質多様性の生物学とリピドームアトラス」

【セッション3-1】新技術が切り開くレドックス研究

座長：山田 健一（九州大薬）

16:30-17:00

村田 幸久（東京大農）

「人工知能を用いた動物行動解析システムの開発と研究応用」

（休憩）

【特別講演】

座長：伊東 健（弘前大医）

17:20-18:05

青木 淳賢（東京大院薬）

「リン脂質の脂肪酸リモデリングの分子機構と生物学的意義」

情報交換会

3月16日（土）

【セッション3-2】新技術が切り開くレドックス研究

座長：山田 健一（九州大薬）

9:00-9:30

松元 慎吾（北海道大情報）

「超偏極 13C MRI によるミトコンドリア代謝変容の非侵襲計測」

9:30-10:00

山本 正道 (国立循環器病研究センター)

「マウス生体内での ATP 動態可視化」

(休憩)

【セッション 4】 若手研究者が切り開くレドックス研究

座長：斎藤 芳郎 (東北大学)

10:20-10:50

平田 祐介 (東北大学)

「生体膜脂質酸化によるメカノセンシングを介した細胞死誘導機構」

10:50-11:20

四元 聡志 (東京薬科大)

「ネトーシスと酸化脂質シグナル」

11:20-11:50

西村 多喜 (東京大医)

「レドックス研究における人工脂質プローブの可能性」

11:50-12:00

斎藤 芳郎 (東北大学)・野口 範子 (同志社大学)

「Redox Experimental Medicine の紹介」

12:10-12:20 閉会の挨拶

12:40- 運営委員会